しらぬか

2023. 1.25 NO.159

護乙

- 2 令和 4 年第 3 回臨時会概要
- 3 令和 4 年第 4 回定例会概要
- 5 町民と議会の懇談会(案内)
- 6 一般質問7名
- 14 異員会・協議会の活動
- 15 令却 4 年職会。職員活動一覧

令和4年度 釧路町村議会議員研修会



(釧路町村議会議員研修会)

4年度補正予算

一般会計補正予算 補正合計 55 億 4304 万 5 千円 総 額 231 億 1796 万 6 千円

●増額

ふるさと納税関係 2,660,114,000円 まちづくり基金等 2.843.613.000 円 道知事道議会議員選挙費 6,524,000 円 光熱水費 11,668,000 円 庶路支所改築工事 10,000,000 円 飼料価格高騰緊急対策事業 3,500,000 円 メイクセンター維持管理運営業務 1,655,000 円 スポーツ推進助成条例助成金 1,200,000 円 繰出金 12.816.000 円 その他 2.000 円

●減額

公共下水道繰出金 8,047,000 円

質疑•答弁

- 習自動ドアにできるかどうか、形状の問題も含めて検討させていただきたい。
- □ふるさと納税の関係、今年度の実績は、昨年度と比してどういう見通しか。
- **2** 令和 4 年 11 月末の実績は申込ベースで 19 万 8,701 件、寄付金の累計が 77 億 1,908 万 5,400 円。前年対比で 115% の実績。

今年度の総額は、昨年度の1年間125億 2,000万円を上回ると見込んでいる。

委員の選任

監査委員の選任

12月20日に任期満了を迎える監査委員について、新たに選任の同意をしました。

• 佐野 正二 氏(再任)













11月22日

- ・特別委員会中間報告
- · 令和 4 年度補正予算
- ・条例改正等
- ・工事委託業務に関する協定の一部変更
- ・監査委員の選任

· 特別委員会中間報告

議会改革・活性化特別委員会の立石委員長から 調査検討事項について中間報告が行われました。 中間報告の内容は、4ページに掲載しています。

協定の変更

●白糠町公共下水道白糠下水道管理センター設備 更新工事委託業務

下水道管理センターの設備更新工事に係る、日本下水道事業団との委託協定に変更が生じたことから、協定を変更しました。

長 彰

議会議員として35年以上在籍した者として、 総務大臣より石田議員に感謝状が授与されました。



4年度補正予算

一般会計補正予算(専決含む) 補正合計 2 億 5873 万 3 千円 総 額 175 億 7492 万 1 千円

●増額

新型コロナウイルスワクチン接種対策費

37,023,000 円

庶路学園グラウンド造成工事設計照査等業務

7,000,000 円

電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業

78,344,000円

新型コロナウイルス感染症対策 108,348,000 円 繰出金 113,000 円

職員給料 27,905,000 円

質疑•答弁

- ■新型コロナウイルスワクチン接種対策費の委託料で、1人あたり4,620円で5,750人とあるが、町外での接種者は、1回、2,277円の300人となっている。白糠で打った場合との価格の差について伺う。
- 図委託料の 4,620 円は、集団での接種単価で休日加算が付き高く、町外で打った方は、個別接種になり、休日加算額 2,343 円分の金額の差が出ている。
- ■庶路学園グラウンド造成工事設計照査等業務の 委託、委託期間、委託業者、随意契約なのか。
- 番委託期間は、令和4年10月12日から令和5年3月30日。委託業者は、ダイシン設計株式会社。契約は、随意契約となっている。
- □電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金について、1,520世帯に5万円ということだが、1,520世帯の内訳は。
- 留対象世帯が2種に分かれており、住民税非課税 世帯(生活保護世帯含む)で1,510世帯、家 計急変世帯を10世帯、合計1,520世帯を見込 んでいる。















- ・専決処分の承認 (令和4年度補正予算)
- ・令和4年度補正予算
- ・条例改正

条例等

一部改正

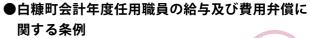
- ●白糠町議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例
- ●町長等の給与に関する条例

(人事院勧告に伴い、手当 0.10 月分増)



●職員の給与に関する条例

(初任給・若年層の月例給の引き上げ) (人事院勧告に伴い、手当 0.10 月分増)



(会計年度任用職員に適用する給料表を国家公務 員の給与改定に準じて改定)

お詫びと訂正



前号の17ページの【採決の結果】の 議員報酬が「20万6,400円」となって おりましたが、正しくは「20万4,600円」 でしたので、お詫び申しあげるとともに 訂正させていただきます。

町民と議会の懇談会

今年も町民の皆さんと地域の課題について、今後の議会活動に役立てながら、 町民と協働のまちづくりを進めるため懇談会を開催いたします。

町民と議員が自由に意見交換する場として実施します。

どなたでも参加できますので、皆さんのご来場をお待ちしています。

参加申込み・お問合せ

電 話:2-2171 (内線303) 白糠町議会事務局

FAX: 2-4659

メール: giji@town.shiranuka.lg.jp

2月9日(木) までに、電話・FAXまたはメールにて議会事務局まで

お申込みください。

お申込み時にお名前、ご住所、電話番号をお伝え願います。

- ※当日は、事前申込みのない方の参加も承りますが、会場の収容人数 には限りがあることなどから、できるだけ事前の申込みについてご 協力をお願いいたします。
- ※新型コロナウイルスの感染症の拡大防止等のため、やむを得ず開催 が中止となる場合は、申込みをいただいた際の連絡先へお知らせし ます。

き/2月12日 📵 午後1時30分

ところ/社会福祉センター 大会議室 定 員/50名 対象者/白糠町民

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、密集を避けるため人数 制限をし、座席の間隔を十分に確保するよう努めます。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため会場に入場の際には、検温、

手指消毒、マスク等の着用にご協力ください。



当日のスケジュール

1:00

受付開始

1:30

懇談会開会

- 主催者挨拶
- 進捗状況報告

1:50

意見交換

3:00 閉会

例

問短期研修等の利用は、寝具等は備え付けという ことか。

督若干の備え付けはする予定ではあるが、基本的 には自身で用意してもらう。

一部改正

●白糠町の議会の議員及び長の選挙における選挙 運動の公費負担に関する条例

公職選挙法施行令の一部改正により、公費負担 額が改正となったことに伴う改正。

●白糠町営バス運行に関する条例

町営バスの運休日を利用実態に則した見直しを するための改正。

制 定

●白糠町多目的宿泊施設の設置及び管理に関する

白糠高等学校が令和5年度から道外生徒募集を 開始するにあたり、生徒の受入れに必要となる宿 泊施設を整備し、その運営を行うため、条例を制定。

- 問白糠高校に行く予定があり、中学校から白糠に 移りたいという子のために寮を使うことはでき ないということか。
- **智**利用者の範囲だが、白糠高等学校の道外募集応 募者が第一義となる。その上で空室がある場合 は、短期の研修、バドミントンや陸上の合宿系 も白糠高校生の入寮に影響が出ない範囲であれ ば、状況に応じて有効に活用していきたい。

小委員会

特別委員会

で運営してきた事実、2つの現実と2期8年間を実質12人の、人口減少が避けられない を充実させるにはそれにが行う調査や議員同士のいては、 常任委員会を運営させるため しい人数が求められるもの は、

催する。
員会で協議し、次り、 ②議員定数・議員報酬・ 分から 令和5年2月12日 にふさ の討議 を増額することとした。 長、委員長についても、 ととした。また、 ただ、

させるためには政務活動費は ことから、支給しないことと数の議員が不要と判断をした れまでの議論と同様に、大政務活動費については、 いう少数意見があるこ

ては現行 会議以外 範に渡ることなどを考え併 議員報酬の10%を増額するこ な意見があったが、 材を議会に送り出す 議員報酬を増額すること 0 0 0 議会や委員会などの 0) にも議員活動 増額幅につい こなど多様アップから、 最終的に 多様な人 助とす 0) は広

また議長、

副議長、

委員長

政務活動費

これまでどお

議員と同額を増額する

6 0 0

円とする。

①「町民と議会の懇談会」の

議会改革・活性化特別委員会 第4回中間報告

)委員会等開催状況

(3月から12月) 抜

とし、12名とする。 議員定数 13名から 13名から1

議員報酬等 行から10%増額し、 議員報酬は現 2

けた議論を進めていく、といには、町民とともに導入に向今後その必要性が高まった際 けた議論を進めていには、町民とともに

○令和4年度の今後の活動

調査・検討に継続して取り組委員会の設置目的達成に向け、年度となることから、本特別年度となることから、本特別のがでは、現議員任期中最終

同額

議会通年会期制 議会会議録のホ

公開の

町民と議会の懇談会」 前懇談会」

啓発と実施 の開催

「議会の点



中河敏史議員

閊コロナウイルス感染症に

業を経て、各学校は、 かけ全国、全道一斉の がけ全国、全道一斉の 回避やマスク着用、 全道一斉の臨時休年2月から5月に 于洗いの

農経営を維持すべく、

対策を

な説明をうけ、

持続可能な酪

講じるよう要請

問

対スす感

ルス感染

換気や消

応は患 患者 もてい対 でする対

○ おおりまする対応は。○ お響が多々出ているが罹患の数年コロナウイルス感染症の数年コロナウイルス感染症の数年コロナウイルス感染症のが変化のできるがに思われたが第8 な (1

る健康管理(自宅療養)が基本となり、自身で検査、受診 を対し場性の場合は自身で陽性者 を録せンターに陽性判定のた が見たである。65 が見たの方・入院を要する 方・重症化リスクがあり、か 方・重症化リスクがあり、か 方・重症化リスクがあり、か が基 65歳未満で軽症者は自身によたが、国の全数届出の見直し の方に対して保健所が体調確症については、これまで全て新型コロナウイルス感染 認や療養の指導などをしてき

いて知らせている。
国や道が示している対応につない。町民から問合せがあっない。町民から問合せがあった。 習慣を崩さない取り組みを推を親子で検討し、基本的生活や、テレビゲーム等の使い方 進して とで、 ズムチェックシー いる。

り保健所の指示がある。従っいる方については今までどお

握していないため、

原則「罹

て、

町では罹患者の情報を把

を講じ、安心して学校生活を人面談を実施するなどの対策安を感じている子どもには個 ている。 送ることができるように配慮 ンケ が保健室の相談者数が増加し の影響とは一概には言えない精神面については、コロナ - トを実施するなど、不。。学校生活の満足度ア る

行ってきた。奨励、換気や ど、登校せずに学びを保障すトを用いて課題を提示するな 校を控え、 付くことができるような活動 子どもの生活を可視化するこ 生活面については、よる取り組みをしてきた。 面については各校でタブレッしてきた。影響として、学習 は体調不良者が 2学年の状況である。 鎖が9月に1 自分自身で改善点に気 自宅療養をお願い艮者がいる場合、登 祝である。学校で1校、10月に1校、の月に1校、10月に1校の別に1校の対策を ・トを用い、 生活リ

(41頭7,200円ほか) (41頭7,200円ほか) の農業団体では地域農業の厳 の農業団体では地域農業の厳 をの上で、11月43=15 (41頭7,200円ほか) を行っている。国から支援策あげて国、道に支援策の要請めており、町村会や農業団体のでおり、町村会の農業団体のであり、町村会の農業団体のであり、町村会の場合である。 農業協同組合から実情その上で、11月24日釧 騰の波を受け大変厳しい状況 農業にとって飼料・肥料の高 の高騰、過度な円安が続き、圏世界情勢を見ると輸入品 して現状、 にあると認識している。 農業経営にとって の詳細 町と

問 の対応・ は畜 産の

危

機

して今般飼料高騰対策の支援

の把握に努め、釧路丹頂農業農業経営環境や国・道の動向を講じることとした。今後も

自らが行る 動 を産 寸

体

対応して

協同組合と連携を図りながらの把握に努め、釧路丹頂農業

答

応していくのか。 いる町はどのように捉え、対 次産業の再興と振興を掲げて 経営の危機となっている。1迷、生産資材の高騰等により 酪農・畜産業が消費 0) 低 対 て 1

容は。 容は。 0 万円の内

円となっている。 ちの と と と と と と と と と と と と に を 町 と 農 協 が 支 援 す る こ と に と し ま る の と ま る の と ま る の と ま る の と ま る の と ま る の と ま る の と ま る の と ま る の と ま る の と ま る の と い ま る の と ま る の と い ま る と の と い ま る の と い ま な と の と い ま る の と な と の と い ま な と の と い ま る の と い ま な と の と い ま な は 7, 都府県では1 対策事業で経産牛 答 0) 200円の対策を打ち不では1万円、北海道で 料 0) 北海道で北海道で

合と連携を図りながら検討し 過今後釧路丹頂農業協同組

を町単独で支援をしていく 薬団体が国に働きかけて頂き、 国の情勢を見極めながら、釧 路丹頂農業協同組合と「 進めていく。

	中河 敏史 議員・・・・・・・・・・ アページ	
	1 コロナウイルスの影響について2 酪農・畜産の危機について	
	坂本 勝雄 議員・・・・・・・・・・・8ページ	
	1 白糠学園通学路の安全対策について2 白糠町のスクールバスについて	
	鎌田 民子議員・・・・・・・・・・・・・・9ページ	
	1 高齢者への補聴器購入の支援について2 帯状疱疹ワクチン接種の補助について3 全国瞬時警報システム(Jアラート)発信時の対応について	
	石田 正義 議員・・・・・・・・・・10ページ	
	1 農業の振興について2 町道の整備について3 旧白糠小学校について	
	澤原 孝行 議員・・・・・・・・・・1 1ページ	
	1 馬主来自然公園の新たな活用方法について2 高齢者でコロナの陽性で、軽症者の対応について	
	福地 裕行 議員・・・・・・・・・・1 2ページ	
	1 町民農園について2 職員教育について3 庶路学園の法面崩落について4 ワクチン・マスクについて	A
1	折出 征清 議員・・・・・・・・・・・1 3ページ	
	1「アシル・トイタ」プロジェクトにつて	

※掲載している内容は、質問者自身が要約し広報広聴調査特別委員会

が校正したものです。

※一般質問~1人90分以内で、町長・教育長に対して広く町政に関する説明を求めます。議員7名が17件25項目について質問しました。

鎌田民子議員



坂本勝雄 議員

向上が図られたところである 通りの一部区間で新たに歩道 通学路となっている町道学園 歩道が設置され、安全対策の を整備することに伴い、 することが条件となり、 ついては先行して歩道を整備

横断

安全対策に万全を期していく 委員会とも連携を図りながら おける通学路の更なる安全対 増員配置することとし、 策として、 町としては、 交通安全指導員を 当該交差点に 教育

きないか伺う。 間手押し信号機の設置はで

> 道路管理者、 いては、

警察などの関係

うにしているのか伺う。アルコールチェックはどのよ

問運転手の運転マニュアル

学校や教育委員会、

で、当該交差点に交通安全指とが警察から示されているのと信号機の設置が難しいこ とで、 に関しては1 導員を登校時は2人、 安全対策に努める。 人配置をするこ 下校時

問

安全対策は一角糠学園通学路の

必要と思うが伺う。の間にガードレールの設置が学路である栄橋の歩道と車道学路、白糠高校の通

が伺う。

横断歩道の設置が必要と思う

問白糠学園西5条北2丁目

万全を期していく」増員し安全対策に

の交差点に信号機の設置と

答栄橋は昭和6年に完成し、

信号機の設置については釧路質問の交差点において、

歩道幅が確保されていると考ても児童・生徒数から十分な確保されており、現在におい ことから、 中学校、 えている。 当時の基準で安全性も 高校の通学路だった 歩道の幅を広く計

設置については必要と認識さがなされ、同時に横断歩道の

れたところだが、その設置に

今般、

警察署より難しいという判断

すると、 られ、 設置基準として、 必要性は低いと考えている。 点ではガー 保につながることから、 ちるなど、 冬期間の除雪作業の効率が落 ガー また、 ドレー 速やかな除雪が安全確 歩道の幅が狭くなり 歩道に防護柵を設置 様々な課題が考え ドレールの設置の ルなど防護柵の 通学路にお 現時

学路の合同点検を実施したが昨年度、各学校において通 レールの設置が必要と

なっている。された箇所に設置することと

関と協議をしながら、 判断される箇所は無かった。 今後とも教育員会や関係機

安全を確保していく。 導員などによる見守りにより 子どもたちの安全意識の高揚における交通安全教育を進め、 を図るとともに、 交通安全指 各学校

答弁だったが経過を伺う。把握し、対策を検討するとのを」について、状況を十分に を」について、状況を十分に方面の牧草地に防雪柵の設置 般質問した、 問令和3年6月定例会で一

また、

児童生徒にはシートベ

ルトの着用を義務付けている。

子どもの置き去り対策につ

ルチェックを実施している。運転前の車両点検とアルコー

「栄橋から高校

対する法定速度の順守や安全

全対策については、

運転手に

運転の指導を日常的に行

度はCランクで、 危険度評価」を実施した結果、 の気象状況を整理し、「吹雪 間の現地の状況や過去5年間 管令和3年度における冬期

いては、

降車時の目視確認、

業務

この中で危険性が高いと判断機関からなる合同点検があり、 である。 から、 雪などで対応するのが一般的 栄橋通りにおける吹雪の危険 に応じて、 面の背後地は農地であること 路でもあり、 栄橋通りは白糠学園の通学 ード整備は行わず除雪や排 維持管理していく。 て、徐排雪の対応を実吹きだまりの発生状況 栄橋から橋北方 その場合は、

> 護者に連絡をとり、 児童生徒の欠席者は、

安否確認

必ず保

再度確認をしている。

また、

家庭から連絡のない

終了後の車内清掃や消毒時に 日誌への記録とともに、

を徹底している。

全対策は スクー ルバスの 安

を 日常的に指導をしている。 日常のに指導をしている。 では、 のでは、 のでは、

和天別

なく、

ので運転者の家族にチェック内で、茶路地区は個人雇用な

地区は事業委託なので事業所

をお願いしている。

スク

ル

問

答 策を継続する出導を徹底し、 止 対事

魯町内で運行 している ス

ルバスは現在3台で、 安

> 事故などの未然防止対策を継 バスの安全運行の指導徹底と 今後においても、

問 購入支援に高齢者へのは では、補聴器

支援を検討する道の動向に合わせいないが国、町独自の支援は考

か伺う。 を放置していると自立した生している。聴力が落ちたこと 聴器購入に一部支援できないとも明らかである。高額な補 活力が著しく低下していくこ 齢性難聴者も年々増加

が70デシベル以上により、聴器の購入は、聴覚のレベ 答現状 給付を受けることができる。 自律支援法に基づき補聴器の 体障害者手帳の交付を受け、 の支援としては、 聴覚のレベル 身 補

はない。 てい 等の調査を行っているので、 加齢性難聴者への公的支援 いないが、国や道がするこいないが、国や道がするこない。町独自の支援は考えない。 動向に合わせ支援を検討

> 問 種の補助について帯状疱疹ワクチン 7 接

答 現状を把握. 作制を検

である。睡眠不足や過労など、が現れ、赤い発疹が出る病気部にピリピリとした強い痛み なり、 なワクチン接種の補助をしての予防をするためにも、高額 やすくなるといわれている。 免疫力の低下などが引き金に はどうか伺う。 何度もかかることから、 状疱疹は体の 特に50歳代から発症し 側 今後 0)

なり、 850歳代から発症率が高く 人が発症すると言われ、 80歳までに約3 人 に 1 何度



ることもあると聞いている。 を引き起こした場合は死に至 重い後遺症になる方、合併症 も繰り返す方や入院される方、

回 2 万 1, 2回接種が必要で、 るよう努力したい 担になると思う。 己負担となり、 1回接種が必要で、費用は1ワクチン接種は基本的には 、ワクチン接種を実施できになると思う。現状を把握負担となり、大きな費用負 000円が全額自

問 信時の対応についてム (Jアラート) 発 全国瞬時警報システ

答 |期していく| |危機管理に万全を

ラブルが相次ぎ、 ル発射に関し、様々な情報ト間北朝鮮による弾道ミサイ の対応について伺う。 町内に混乱はなかったか。 混乱した。

の屋外スピーカー、全戸、全情報等について、町内41カ所海道方面上空のミサイル通過発射情報、午前7時42分に北発射情報、午前7時42分に北 事業所の戸別受信機を介して 答 の屋外スピーカー、 日 担当職員は、 前 7 時 27 分、 全

上がっている現下の情勢に大いたが、特に大きな混乱はないたが、特に大きな混乱はないたが、特に大きな混乱はないので、 変危惧している。危機管理に 万全を期していく。

のマニュアルは十分に生かさていたと思うが、Jアラート防災無線を聞きながら登校し間児童生徒は登校時であり、 れたのか伺う。のマニュアルは

答マニュアルでは、 子どもは自宅待機、 白糠学園と庶路学園 登校中

校に移動し、避難バスに乗車中で、 徒の行動について周知した。 者にメー 0) 通常の教育活動に移行 が確保されたことを確認後、 はこのような対応をし、 ている。 があれば避難することになっ の子どもは近くに頑丈な建物 Jアラート発信時にスクール 茶路小中学校の児童生徒は ルを送信、 、避難した。安全中で、そのまま学 児童生 した。 保護

混乱はなく、 分に生かされたと思う。 を行うことで、 マニュアルに基づいた対応 マニュアルは十 当日は大きな



石田正義 議員

問 農業の振興につい

め対応していたの動向の把握は農業経営や国、 に努道 <

外的要因は全国的なものである農業経営を圧迫している 円安により輸入穀物 支援が

かなければ生き残れない 一次産業は地域で支えて

根本的なことを考え、

留今、時代が変化し している 将来に

7 る。 いかなければならないと考え向けて知恵を出して変わって

問 町道の整備に つい 7

答 実施する 単独事業で整備を下和5年度には町

整備できないか。 も安心して通学できるように 日も早く、 圓新縫別の町道の整備を 子ども達が降雨で

工事を実施する計画である。

あり、 しい。 あり、補助事業での実施が難ることや国有林の併用林道で いたが、総事業費が多額にな助制度を活用する計画として あり、 管本路線は総延長が6・7 財源については国の補

実施する。 令和5年には道路概略設計を 事業で整備を実施する考えで、 箇所を含めた起点から約3・ いて、 抜本的な改良舗装整備につ 畑の区間を優先して町単独 人家があり、 軟弱な

6

整備の考え方を伺う。間日の出公住北側の 出公住北側の 通路 0

を実施し、 配分や事業量、

問 の今後の考え方は旧白糠小学校施設

答 方策を考えていく一議の上、利活用の 小学校、 校舎、

圏公共施設としての利活用、 津波避難場所など検討を進め

ている。

改良工事完成後舗装を実施す 備は、令和2年度に改良工事りと東1条公住3号通りの整督町道北7丁目公住2号通 関係で本路線の舗装整備に時 間を要したが、 る計画で進めてきたが、予算 維持管理している 令和5年舗装 優先順位等の

育館施設の利活用の考え方を

旧白糠小学校

伺う。 されたが活用方法はなかっ 庶路小中学校はすぐに解体

耐震施設ではなかったため 庶路小中学校については、

答

本年は、 甚大な被害状況であったが、 は悲鳴を上げている。 の値上がりで酪農・畜産業家

り、町だけで解決できる問題 の厳しい状況を訴えて支援策 の厳しい状況を訴えて支援策 の要請を行っている。釧路丹 頂農業協同組合から実情の詳 細な説明を受け、持続可能な 略農経営をすべく要請があり、 した。 る事とし、 補正予算案を上程

答 問 **について** の新たな活用方法 て保全していく アイヌ文化の仮 ・伝承の地とし ヌ

O

保

して特別の施策が無いか伺う。しているが、今後自然公園とで観光として大勢の方が利用間パシクル沼は白糠・音別

設をしっ 文化の保存・伝承の地として、豊かな自然や白糠町のアイヌ この自然環境を維持し、 管昨年までに整備をした施 していく。 かりと維持管理し、 保全

はないか伺う。

町民からレジャーの場とし

町民からレジャーの場とし くから活用されてきている。 パシクル自然公園は、

る際の注意等、 管安全対策の1 設置を検討 沼に L

また、 沼に氷が張る冬期間 車 両の乗り入れ

ケ は危険なので、 ド閉鎖をしている。、険なので、過去からバ IJ

置できないか。 つながって良いと思うが、設なものがあると公園のRにも別にあるクマのはく製のよう 間自然公園の入り口に、 登

良いのでは。

5

感染予防対策として、

っても町

それ以外のものを設置する考案内看板を設置しているので、 案内看板を設置しているので、 えは今のところない。

問 の町の対応は高齢者がコロナの

暮らしている場合、1番大事間コロナにかかって2人で

なものがトイレだと思うが、

タブルトイレは自宅療養

答 する予定はない一町が独自に支援を

間2人暮らしの、

公営住宅

となって

ていない。

1

んは対象

答ポ

セットに入っているか。

援ができないか。 活空間を分離できない方の支 活空間を分離できない方の支 マンション暮らしの方が

用意しないということか。困っていても、ポータブルは固 2 人暮らしの高齢者が

ロナ感染で自宅療養の

宅で実施可能な感染対策を取 決められた期間、 療養に 自

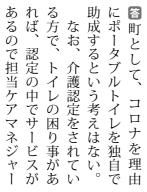
> ということではない。 活を完全に切り分けなさい 何が何でも生

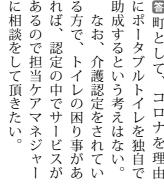
トイレをはじめ大変であるか安心安全から、特に高齢者は療養セットはあるが、町民の

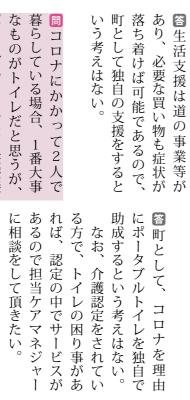
間政府が言うところの

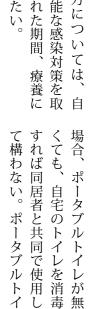
自宅

援が出来ないか。思うがポータブルトイレの支に支障をきたすことがあるとの。

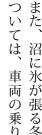






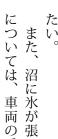


の考え方で解体された。耐震工事には費用がかかると



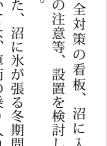


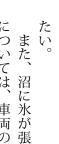
澤原孝行議員

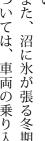


11

り、 努めて頂きたい 管軽症の方につ いては、









福地裕行議員

やらないか。

も検討すると言われたが、検問7年ほど前にただした時

時世、町民への提案・喚起もり合いもでるだろうが、この孫の小遣いにでもなれば張 答永続性も大事である。 大事である。

問 教育は隗より始め

指導を強化する

府もメディアも真正面から捉えていない。 町民農園の造成を な取り 組みで 布するなど役場の幹部級も教育を標望しているが、到底しまちづくりの一角として 育が不 十分である。

有用

ある

問

過町長はそうこれの公平な行政運営に努める。 問いているが、今後も公正か 個人材の育成と教育に意を

圏町長部局が発出したもの なものだ。 間勝手に発出した誠に失礼 ではないから見ていない。

起した。

伝えた。 管不適切であり、 議長にも

圏有用な取り組みと考える

維持管理上の課題や需要

造成してはどうか。

軽減等の観点から町民農園を 自給率の向上・経済的負担の

いの醸成・にぎわ

いの創出

の健康づくり・

生きが

治屋の体たらく。これが卑・公務員天国、併せて政闘日本だけは未だ官尊民

実施を検討する。

関係者の意見も伺ったうえで などを把握する必要があり、

> 退に一層拍車がかかる。とさえできなければまちの衰 金科玉条として範を垂れるこ 18、19で就き、前例踏襲を日本没落の一大要因である。 前例踏襲を

るように指導を続ける。管信頼される公務員にな

答意を体していく。 れている。共に税金で飯を食 片時も忘れてはいけない。 わせてもらっていることを、 間議員も体たらくを見下さ

問 | いはずはない

答 第三者が調査 中

な切土・盛土する弊害・危険地下水脈がある所に大規模でることをただ一人反対した。□庶路学園をあの場所に建 ぞろ危惧した通りの事態が惹物度注意喚起もしたが、また 性を予見したからでもある。 完工後、大小の崩落があり

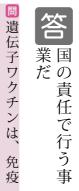
全体の地勢が原因だとして瑕計会社は、想定外の降雨と山50mの範囲で崩落したが、設 疵は認めない。 答前回と同じ箇所。 弁護士の提案 75 m X

により第三者に検証してもら

設計以前のボーリング調査べきと申したが後手に廻った。崩落後、第三者に調査させる などとんでもない。 □あの程度の雨量で 一回崩目れ る

設計以前の問題ではない。 三者には委託しなかったし、 社の責任で施工したので、 答一回目は瑕疵を認め、 にも問題があったのでは。 会 第

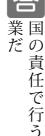
答だから調査している。 間訴訟提起の経過は。



る。 を着用するほど感染している 摂取後の感染爆発が起きてい イクスルー感染やブースター を抑制する作用があり、 系バランスを崩し自然免疫力 深刻なワクチン後遺症へ 打てば打つほど、 マスク

管第三者の検証結果報告に 基づき対応を判断する。

問 国家犯罪である



の対策を強化すべきである。

職員10%、 罪と言っても過言ではない 因はワクチン接種だ。国家犯 者が異常に増えているが、 師 判らない。接種率は、厚労省 Bの多後何が起きるか誰にも るので必要に応じて対処する いる人は打たないのである。帥20%だ。危険性を判って 管国は救済制度を設けてい 人口動態統計を診ても死亡 国会議員15%、 て医 要

る。 もには甚大な影響があり、 ばかりか、健常者、 間咳込む場合以外のマスク 管国の責任で行う事業だ。 圏国から通達ある毎に周知

のは、 さに百害あって一利なしであ 着用は感染症対策にならない 特に子ど ま

教育委員会としては、通知方針に基づき啓蒙に努める。 を図 る。 に基づき各学校を指導してい教育委員会としては、通知 つ 今 後も 玉 |や道の

免疫

変な状況から増養殖をしてあ猿払村は、資源が枯渇した大いく。ホタテ漁獲量日本一の い。漁業協同組合が全部やるば増養殖をしなければならなが、取れなくなってきたならが、取れなくなってきたなら そういうもりがり、用になってくるものもあり、 過はご理解いただきたい。り組みを進めており、その経知恵などからヒントを得て取 いく。ホタテ漁獲量日本一の業者の皆さんにお願いをして とで、違う農業が見えてくる。そういうものが増えていくこ そこまで復活した。そう くいくようであれば漁組や漁 力も借りながら実証し、 ならない。 チャレンジしていかなければ ける。また現代は気候が急変ば、その作付けを増やしてい 努力や苦労、 のは無理があるので、 識では無理だと思うことにも してきており、 違う農業が見えてくる。 町の将来や今後の めており、その経らヒントを得て取、あるいは先達の これまでの常 民間の うま いう

どのように携わるの が協力するとの事だが各々が て、町・高校・企業・生産者 工業大学が代表機関となるこのプロジェクトは室芸 このプロジェクトは室蘭 か伺う。 つ

しており、有用と認められれて生かせるものはないか研究

義を実施し人材育成を進める。の推進と、環境教育などの講が設置され、本プロジェクト 加があり、 義などを実施しており、今後の包括連携協定のもと出前講 などの専門分野から8社の参産業など、栽培、加工、流通 日本をはじめ町内企業の大前 は校内にサテライトオフィス 渡しなどの協力をしていく。 や生産者・地域の方々との橋 企業は、 白糠高校は室蘭工業大学と 町 と室蘭工業大学との これまで通り情報提供と室蘭工業大学との連 カネカやNTT 今後も全国に向け 東

は、 今現在、出願・問合せ等はあ境学」という科目ができるが どを教材とする「しらぬか環 るか伺う。 ネルギー資源・先人の文化な 置されるという白糠高校で 間サテライトオフィスが設 来年度から自然環境・エ

せ等はない状況である。年1月18日から23日までとついては、出願期間が令和5 答 来年度の道外募集の



となった。

いるが、

やはり安定的な収入

養殖事業等大いに期待をして

が無ければ担い手や後継者不

援プログラム」に応募し採択学省所管の「共創の場形成支

でに絞られ、本年度、文部科される植物の候補が7種類ま

に、また漁業関係はホタテの関係は本プロジェクトを契機が特に盛んな町である。農業標津など全国的にも一次産業

ロジェクトの目的と将来的な

み合わせた、「新たな農業」 耕す」という意味の単語を組

アイヌ語で「新しい-

土地を とは、

である室蘭工業大学が中心と

本プロジェクトは代表機関

答「アシル

トイタ」

という造語である。

ルド

として科学に裏付けられ

答大事.

なのは一次産業。そ

学連携のもと、

本町をフィ

なり、

これまでと同様に産官

所得向上を図る考えを伺う。

て参加協力を募っていく予定

足にもつながるので、

町民の

「食」をキーワードにSNS

に栽培が可能な作物を見出し た機能性と低コストで持続的

には、

には、本町の気候風土や資源の中で新たな展開をするため

などを最大限生かして進めて

いかなければならない

そういう中でこのアシル

フイベントを行ったが、本プ食の価値共創拠点のキックオタによる心と体に響く新しい

月7日にアシル・

その

機能性や成分分析などの

255万円という状況。

道内

上位は猿払、

別海、

佐呂間、

グで白糠町は下位の平均約

町村の平均所得ランキン 昨年度の北海道179

調査研究を進めてきた。

その

結果、

昨年までに期待

答

を構築していく一出し、「新しい食の価値を創

伝承有用植物」について、室自生する数百種類の「アイヌ

室

るが、

の向上を図る、 生産者のやりがい、

とのことであ

また所得

蘭工業大学に協力を依頼し、

問

ジアェシ

・クトにノル・ト

つイいタ

7 プ

る植物を見出すべく、

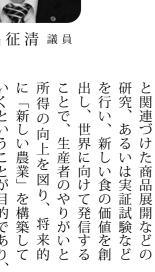
を見出すべく、町内にー症の抑制に効果があ

町では以前から、

アルツ

間新しい食の価値を創出し、





て、生産者のやりがいと世界に向けて発信する

られたのには何か有用なものが明治以前から生活をしてこ

然環境の中で、

アイヌの方々

トイタは、

北海道の厳しい自

所得の向上を図り、 に「新しい農業」を構築して くということが目的であり 将来的

念頭に置きながら、

本町とし

があるはずだ、ということを

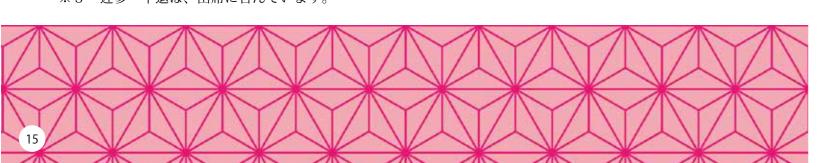
13

令和4年 ·議員活動一覧

和令4年1月1日から令和4年12月31日

	区分		澤原 孝行	折出 征清	立石 巧	中河敏史	小野 キサ	鎌田 民子	山吉 公徳	福地 裕行	小池 憲一	石田 正義	富田忠行
	開催回数	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13
定例	出席	13	13	10	12	13	13	13	13	13	13	13	13
定例会・臨時会	欠 席	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0
時会	遅参・早退(※3)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	全日程出席率	100%	100%	77%	92%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	開催回数	61	25	46	59	64	54	62	47	25	29	33	
各種委員会(※1)	出 席	59	23	42	58	60	54	62	47	25	28	32	53
員会	欠 席	2	2	4	1	4	0	0	0	0	1	1	0
 	遅 参・早 退 (※3)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0
	全日程出席率	97%	92%	91%	98%	94%	100%	98%	100%	100%	97%	97%	
	開催回数	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
各	出 席	9	8	8	9	9	9	9	8	9	8	9	9
各種協議	欠 席	0	1	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0
会	遅参・早退(※3)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	全日程出席率	100%	89%	89%	100%	100%	100%	100%	89%	100%	89%	100%	100%
会議・研修会等		6	4	7	6	3	7	9	7	7	51	19	73
町内行事		12	11	6	9	7	9	10	11	8	7	14	24
町外行事		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	8
合	合計活動回数(※2)		60	74	94	92	92	103	88	62	107	90	180

- ※1 常任委員会、特別委員会、議会運営委員会、分科会の延べ回数。 所属によって開催回数が異なります。(委員会開催前の打ち合わせ等も回数に含む。) 富田議長は各種委員会には所属しませんが、オブザーバーとして出席しています。
- ※2 活動回数は、事務局が把握している数字で、この他にも個々の活動を行っております。
- ※3 遅参・早退は、出席に含んでいます。



委員会・



協議会の活動





産業厚生常任委員会

11月 1日 ●第一次産業の振興・発展に関すること 12月26日 ●移住・定住・空き家・空き店舗対策に関すること

●地域おこし協力隊員、新規就農者との懇談 地域おこし協力隊員及び新規就農者から簡単な自 己紹介と取り組まれている内容、今後の展望を聴き、 現時点での課題などを伺った。

≪懇談内容≫

- ○現時点での課題について
- ・耕作地が都市計画区域に入っているため、D型ハウ スを建てるに確認申請が必要で建設費が高い見積も りが出ている。
- ・野菜の事業などの窓口を作っていただき、町と農協 と営農者とで、町を挙げて野菜に力を入れて欲しい。
- ・耕作地が川に近く岩とかゴロゴロ出てくる。その岩を どうにかできないかが課題。
- ○原課、担当者の風通しが良くなく、なかなか話しが できないのでは。
- ・都度いろいろ相談に乗ってもらっている。

- ●地域活性化支援員(空き家バンク担当者)との懇
- 空き家バンク担当地域活性化支援員から資料によ り現在の状況の説明を受け現状の課題などを伺った。 ≪空き家バンクの実績≫
- ○平成29年から令和4年12月までの成約件数
- •空き家 登録数 57件 成約 47件
- ・空き店舗 登録数 14件 成約 9件
- · 十. 地 登録数 154 件 成約 41 件
- ・アパート 登録数 47件 成約 45件

その他の委員会・協議会活動

- ●議会運営委員会 11月18日・22日・29日、1月10日
- ●広報広聴調査特別委員会 1月6日・13日
- ●議会改革・活性化特別委員会 1月10日

行政視察の受け入れ

- 〇雄武町議会 産業厚生・総務文教常任委員会
- 10月26日≪白糠町役場≫
- ・子育て支援事業について
- 〇東川町議会 産業建設常任委員会
- 10月28日≪白糠町役場≫
- ・太陽光発電を利用したまちづくりについて
- ふるさと納税について
- ・施設見学(温水プール・トレーニングジム)

〇東京都板橋区議会 民主クラブ

- 11月14日≪庶路学園≫
- ・小中一貫教育の運営状況について
- 施設見学



議員の目

▶公園内の山







▼乳呑自然公園内の池

乳呑自然公園は今年の6月頃に、リニューアルされます。公園内には池や山もあり、自然と触れ合う事が出来る公園です。設置されるトイレも水を使わない環境にやさしい「バイオのトイレ」となっています。ぜひ、家族でお出かけください。 撮影:小池憲一 議員



あとがき

「一問一答のその後」

今から考えると議会の大きな曲がり角の一つ であったような気がします。

特別委員会を設置し、それぞれの議員が持て る知識を駆使して議論をしてきた。

課題であった議員の質問と理事者の答弁が、 かみ合わない事で傍聴者が理解できないことも 起きた、あれから数年が経過し、議会も今期の 終盤に入り、果たして色々な出来事を解消でき たのだろうか?

議会は些細な事でも常に議論しなければいけない所だと思う。

私たちの任期も残りわずか、斬新で好感な意 識で挑戦しなければいけないと思います。

(立石)



<u>今号の表紙</u>



今号の表紙は、3年ぶりに開催された釧路町村議会議長会主催の議員研修会の様子です。2つの講演の他、電気自動車から電気を取り出す機器や設備のデモンストレーション、試乗といった体験を行いました。